

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2000-78089(P2000-78089A)

【公開日】平成12年3月14日(2000.3.14)

【出願番号】特願平10-261035

【国際特許分類第7版】

H 04 B 10/105

H 04 B 10/10

H 04 B 10/22

G 03 B 15/05

H 04 N 5/00

【F I】

H 04 B 9/00 R

G 03 B 15/05

H 04 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月1日(2005.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 閃光を発生する発光手段と、

該発光手段に印加する電気エネルギーを蓄積する電気エネルギー蓄積手段と、

該電気エネルギー蓄積手段に充電を行う電源手段と、

前記発光手段に発光を開始させるためのトリガ信号を発生する発光制御手段と、

前記発光手段を発光させる発光間隔を測定する計数手段とを有し、

前記計数手段の測定結果に基づいて、前記発光制御手段にトリガ信号を発生するタイミングを補正させるタイミング補正手段を備えることを特徴とする光情報通信装置。

【請求項2】 前記発光制御手段は発光指示信号を受けることに応じてトリガ信号を発生するものであって、前記タイミング補正手段は前記発光制御手段が前記発光指示信号を受ける間に応じて、前記発光制御手段に前記発光指示信号を受けてから前記トリガ信号を発生するまでのタイミングを異ならせることを特徴とする請求項1に記載の光情報通信装置。

【請求項3】 前記タイミング補正手段は前記発光制御手段が前記発光指示信号を受ける間隔が長いほど、前記発光制御手段が前記発光指示信号を受けてから前記トリガ信号を発生するまでのタイミングを短くさせることを特徴とする請求項2に記載の光情報通信装置。

【請求項4】 所定の周期に同期したタイミングによって通信データを検出し、該通信データが発光指示と非発光指示の組合せからなるものであって、発光指示であることを検出した場合に発光信号を形成して発光手段に発光を行わせることによって、前記通信データに基づいて光通信を行う光情報通信装置において、

前記発光指示を検出してから前記発光信号が形成されるまでの時間を、前記通信データに基づいて調定することを特徴とする光情報通信装置。

【請求項5】 前記発光指示を検出してから前記発光信号が形成されるまでの時間を、前記発光指示を検出した間に応じて調定することを特徴とする請求項4に記載の光情

報通信装置。

【請求項 6】 前記発光指示を検出した間隔が長いほど、前記発光指示を検出してから前記発光信号が形成されるまでの時間を短くすることを特徴とする請求項 5 に記載の光情報通信装置。

【請求項 7】 前記発光手段は閃光管であることを特徴とする請求項 4 から 6 のいずれか一つに記載の光情報通信装置。

【請求項 8】 前記光情報通信装置はストロボ装置であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一つに記載の光情報通信装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

本出願に係る発明の目的を実現する構成は、閃光を発生する発光手段と、該発光手段に印加する電気エネルギーを蓄積する電気エネルギー蓄積手段と、該電気エネルギー蓄積手段に充電を行う電源手段と、前記発光手段に発光を開始させるためのトリガ信号を発生する発光制御手段と、前記発光手段を発光させる発光間隔を測定する計数手段とを有し、前記計数手段の測定結果に基づいて、前記発光制御手段にトリガ信号を発生するタイミングを補正させるタイミング補正手段を備えることを特徴とする光情報通信装置にある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本出願に係る発明の目的を実現する他の構成は、所定の周期に同期したタイミングによって通信データを検出し、該通信データが発光指示と非発光指示の組合せからなるものであって、発光指示であることを検出した場合に発光信号を形成して発光手段に発光を行わせることによって、前記通信データに基づいて光通信を行う光情報通信装置において、前記発光指示を検出してから前記発光信号が形成されるまでの時間を、前記通信データに基づいて調定することを特徴とする光情報通信装置にある。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

これらの構成によれば、通信データを送信するための発光パルス間隔のばらつきが防止され、正確な光情報の伝達が可能になる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、通信データを送信するための発光パルス間隔のばらつきが防止され、正確な光情報の伝達が可能になる。

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】削除

【補正の内容】